

2023 国語出題意図

第1問

本文の読解に関する問いを中心に、基本的な文章読解力が備わっているかどうかを問うた。

問1 本文中の具体的な記述についての確に把握し、内容に即してまとめることができるかを問うた。

問2 本文中に挙げられた筆者の主張について把握し、その背景にある問題点を適切に把握できるかどうかを問うた。

問3 本文中に挙げられた主要な問題点について、筆者の考えを的確に把握し理解した上で、それを説明できるかを問うた。

第2問

文章の内容を、前後の文脈を押さえて的確に読解する力、および本文の主旨を理解して適切に説明する能力を問う問題を出題した。

問1 基礎的な漢字が正確に書けるかどうかを問うた。

問2 本文中の比喻表現について、内容を把握し適切に説明できるかを問うた。

問3 本文中の記述について文脈を踏まえて理解し、その内容を的確に説明できるかを問うた。

問4 本文中の記述について、その内容を把握し、論点を押さえて適切に説明できるかを問うた。

第3問

鎌倉時代の作品からの出題であるが、文体としては平安時代の一般的なものとほぼ同じものを選び、古文解釈の基本的な力を、解釈した内容を的確に文章化できる力とともに高めるようにした。基礎的な文法の知識を問う問題も含む。

問1 基本的な語彙・語法を含む部分を取り上げて、文脈把握した上で正確に口語訳する力を問うた。

問2 問題とした箇所を中心に文脈把握ができているかを、(1)は抜き出しの問題として、(2)は把握した内容を的確に文章化する問題として問うた。

問3 まとめるべき内容が文章中のどこに記述されているかを読み取り、それを的確に纏めて文章化する力を問うた。

問4 基礎的な文法の問題。

第4問

唐・杜甫「屏跡二首」と宋・蘇軾「東坡題跋」を題材として、漢文の基礎的な構文や漢詩の規則の理解と漢詩の表現の分析力、そして作者の意図を的確に把握する読解力を問うた。

- 問1 送り仮名・読み仮名・返り点を省いた文に返り点を打ち、書き下し文を解答する題である。反語という基本的な構文や語句を理解しているかを問うた。
- 問2 漢詩第一首の内容を理解できているかを問うた。
- 問3 第一首と同じく五言律詩である第二首中の中二聯が対句であることを理解し、その意味の対応関係を理解した上で、それを説明する記述能力を問うた。
- 問4 作者が用いる比喩の趣旨を把握し、指示詞「其」が指す内容も理解した上で、その意味を説明する記述能力を問うた。
- 問5 作者の発言の真意を読み取り、それを説明する記述能力を問うた。